



株式会社

伸和光機

SHINWAKOUKI CO.,LTD.

株式会社伸和光機

2022 年度 環境経営レポート

対象期間： 2022 年 8月1日 ~ 2023 年 7月31日



作成日： 2023 年 10月25日

目次

項 目	ページ
目次	1
環境方針	2
事業概要	3
実施体制	4
環境経営目標及び実績①(本社・第二工場)	5
環境経営目標及び実績②(名取工場・全体)	6
二酸化炭素排出量	7
取組結果とその評価①(電力)	8
取組結果とその評価②(燃料・水)	9
取組結果とその評価③(廃棄物リサイクル・その他)	10
法令順守の確認／代表者によるコメント	11
以上	

《環境方針》

《基本理念》

私たちは、地域環境の保護と事業活動の両立を基本理念として、地域社会への貢献に努めます。

《基本方針》

私たちは「花巻の自然を守ります」をスローガンに、従業員一人一人が環境への配慮を心掛け、自然への思いやりにあふれた空間づくりを目指します。

1. 事業活動によって生じる環境負荷の低減、及び資源の有効活用を環境目標に定め、定期的に見直し、継続的な改善を行います。

特に次の事項を重点的に取り組みます。

- ①電気使用量、燃料使用量の削減
- ②紙類使用量の削減
- ③不良品発生量の削減
- ④産業廃棄物の分別、リサイクルの推進
- ⑤水資源の現状維持
- ⑥グリーン購入の推進
- ⑦化学物資の適正使用と管理

2. 環境関連法を遵守し、環境汚染の防止や環境保全の継続的改善を図ります。
3. 「地球にやさしい」、「環境保全につながる」活動には積極的に参加します。
4. 本方針は全従業員に周知するとともに、社会環境教育などを行い実施します。
5. 本方針は社外からの要求や、その他必要に応じて開示致します。

制定：2007年6月1日
改定：2013年2月26日
改定：2014年2月24日 第3版

株式会社伸和光機

代表取締役 豊川 正仁

事業概要

1 事業者名及び代表者

株式会社伸和光機 代表取締役 豊川 正仁

2 所在地

		工場面積
本社	〒025-0084 岩手県花巻市桜町四丁目259番地1 TEL:0198-22-2131 FAX:0198-23-5101	2759.34m ²
第二工場	〒025-0015 岩手県花巻市東十二丁目19-105 TEL:0198-21-3340 FAX:0198-21-3341	531.40m ²
名取工場	〒981-1221 宮城県名取市田高字原345 TEL:0198-22-2131 FAX:0198-23-5101	758.60m ²

3 環境管理責任者及び事務局

氏名:菅野 篤史 役職:管理部長 e-mail:a-kanno@s-kouki.co.jp

4 事業内容

- ① 各種製造、組立(精密機器・業務用機器・医療機器・光学機器等)
- ② 部品購買、部品加工
- ③ 機械設計
- ④ 組込システム設計、ソフトウェア開発

5 事業規模 (46 期実績)

- 法人設立 1977年8月
- 資本金 3,000万円
- 従業員数 85 名(期末時点)

6 適用事業範囲

全所在地を認証範囲とする。 ※請負先は請負先のEMSに従う

7 沿革

- 1977.04 創業
- 1977.08 有限会社に組織変更
- 1984.05 株式会社に組織変更
- 1984.11 現在地(花巻市桜町)に移転
- 2008.02 エコアクション21取得
- 2008.04 本社工場を増築
- 2018.07 資本金3,000万円に増資
- 2018.08 IS9001認証取得
- 2018.12 名取工場を開設
- 2023.01 本社工場を増築
- 2023.08 資本金3,500万円に増資

実施体制

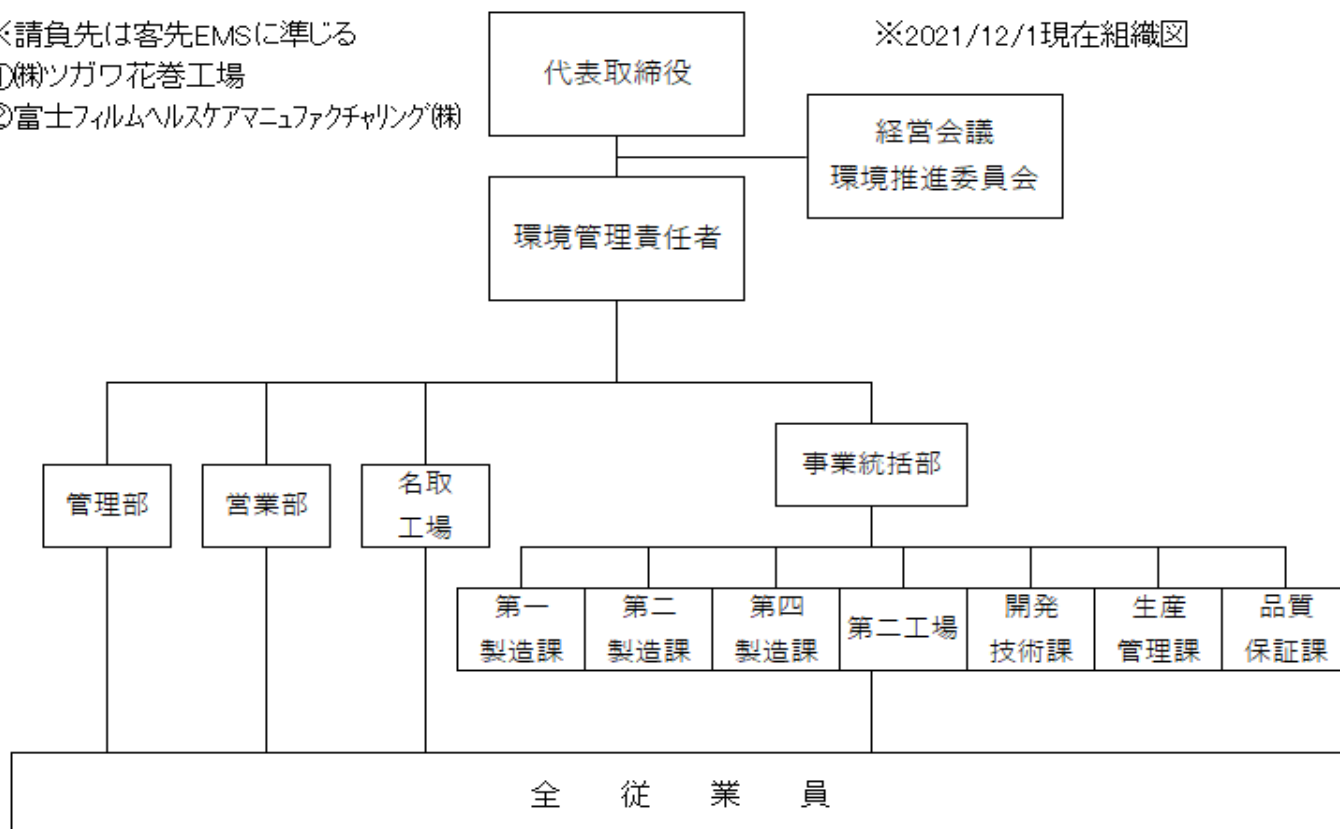
1 組織概要

※請負先は客先EMSに準じる

①(株)ツガワ花巻工場

②富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング(株)

※2021/12/1現在組織図



2 役割・責任・権限表

役職	役割と権限
代表取締役	①環境方針の策定 ②経営資源の準備 ③全体の評価と見直し ④環境活動レポートの承認 ⑤環境目標及び環境活動計画の承認 ⑥環境管理責任者の任命 ⑦課題とチャンス明確化 ⑧実施体制の構築
経営会議	①環境目標及び環境活動計画の結果確認 ②EA21に関する審議、その他関連事項への対応協議
環境管理責任者	①環境経営システムの構築、実施、管理 ②環境活動レポートの作成 ③環境活動実績の確認、評価 ④その他EA21推進に関する業務 ⑤代表者への実績報告 ⑥教育訓練の計画、実施
各部署長	①環境目標及び環境活動計画の結果確認 ②EA21に関する審議、その他関連事項への対応協議
従業員	①環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚し、能力向上に努める。 ②決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

環境経営目標及びその実績

① 本社

※売上原単位(万円単位)にて算出する

年度		基準値	2022年		評価	2023年	2024年
		基準年	目標	実績		目標	目標
電 力	kwh	4.1897	3.9816	1.7796	○	3.9418	3.9024
	基準年比	2020年	95.0%	42.5%		94.1%	93.1%
灯 油	L	0.0921	0.0943	0.0048	○	0.0933	0.0924
	基準年比	-	102.4%	5.2%		101.3%	100.3%
軽 油	L	0.0101	0.0089	0.0338	×	0.0088	0.0087
	基準年比	-	88.1%	334.7%		87.1%	86.1%
ガ ソ リ ン	L	0.059	0.05	0.0137	○	0.0495	0.049
	基準年比	-	84.7%	23.2%		83.9%	83.1%
ガス(プロパン)	m ³	0.0002	0.0002	-	○	-	-
	基準年比	-	100.0%	-		-	-
水 資 源 (上 水)	m ³	0.0093	0.009	0.0084	○	0.0089	0.0088
	基準年比	-	96.8%	90.3%		95.7%	94.6%

② 第二工場

※売上原単位(万円単位)にて算出する

年度		基準値	2022年		評価	2023年	2024年
		基準年	目標	実績		目標	目標
電 力	kwh	11.275	10.98	4.9195	○	10.879	10.77
	基準年比	2020年	97.4%	43.6%		96.5%	95.5%
灯 油	L	2.5447	1.98	0.7329	○	1.9602	1.9406
	基準年比	-	77.8%	28.8%		77.0%	76.3%
軽 油	L	0.1681	0.1634	0.0043	○	0.1617	0.1601
	基準年比	-	97.2%	2.6%		96.2%	95.2%
ガ ソ リ ン	L	-	-	-	-	-	-
	基準年比	-	-	-		-	-
ガス(プロパン)	m ³	0.0019	0.002	0.0009	○	0.002	0.002
	基準年比	-	105.3%	45.0%		-	-
水 資 源 (上 水)	m ³	0.0126	0.0124	0.0197	×	0.0122	0.012
	基準年比	-	98.4%	156.3%		96.8%	95.2%

環境経営目標及びその実績

③ 名取工場 ※売上原単位(万円単位)にて算出する

年度		基準値	2022年		評価	2023年	2024年
		基準年	目標	実績		目標	目標
電 力	kwh	17.9624	17.424	12.3311	○	17.2498	17.0773
	基準年比	2020年	97.0%	68.6%		96.0%	95.1%
灯 油	L	-	-	-	-	-	-
	基準年比	-	-	-		-	-
軽 油	L	-	-	0.3234	-	-	-
	基準年比	-	-	-		-	-
ガ ソ リ ン	L	0.4144	0.396	0.0496	○	0.392	0.3881
	基準年比	-	95.6%	12.0%		94.6%	93.7%
ガ ス (プ ロ パ ン)	m ³	-	-	-	-	-	-
	基準年比	-	-	-		-	-
水 資 源 (上 水)	m ³	0.0126	0.0123	0.0267	×	0.0122	0.0019
	基準年比	-	97.6%	211.9%		96.8%	15.1%

④ 全体 ※売上原単位(万円単位)にて算出する

年度		基準値	2022年		評価	2023年	2024年
		基準年	目標	実績		目標	目標
客先クレーム件数	件	32	10	19	×	5	5
		2020年	-	-		-	-
一 般 廃 棄 物	kg	0.0338	0.0327	0.028	○	0.0323	0.032
		-	96.7%	82.8%		95.6%	94.7%
産 業 廃 棄 物	kg	0.0501	0.0495	0.04898	○	0.049	0.0485
		-	98.8%	97.8%		97.8%	96.8%
リ サ イ ク ル (再 資 源 化)	kg	0.0817	0.0801	0.02	×	0.0801	0.0793
		-	98.0%	24.5%		98.0%	97.1%
社 会 貢 献	件	3	3	1	×	3	3
		-	-	-		-	-
化 学 物 質	kg	-	-	0.37	-	-	-

※PRTR法該当化学物質については、使用量が全て10kgのため購入量のみ管理

二酸化炭素の排出量の推移

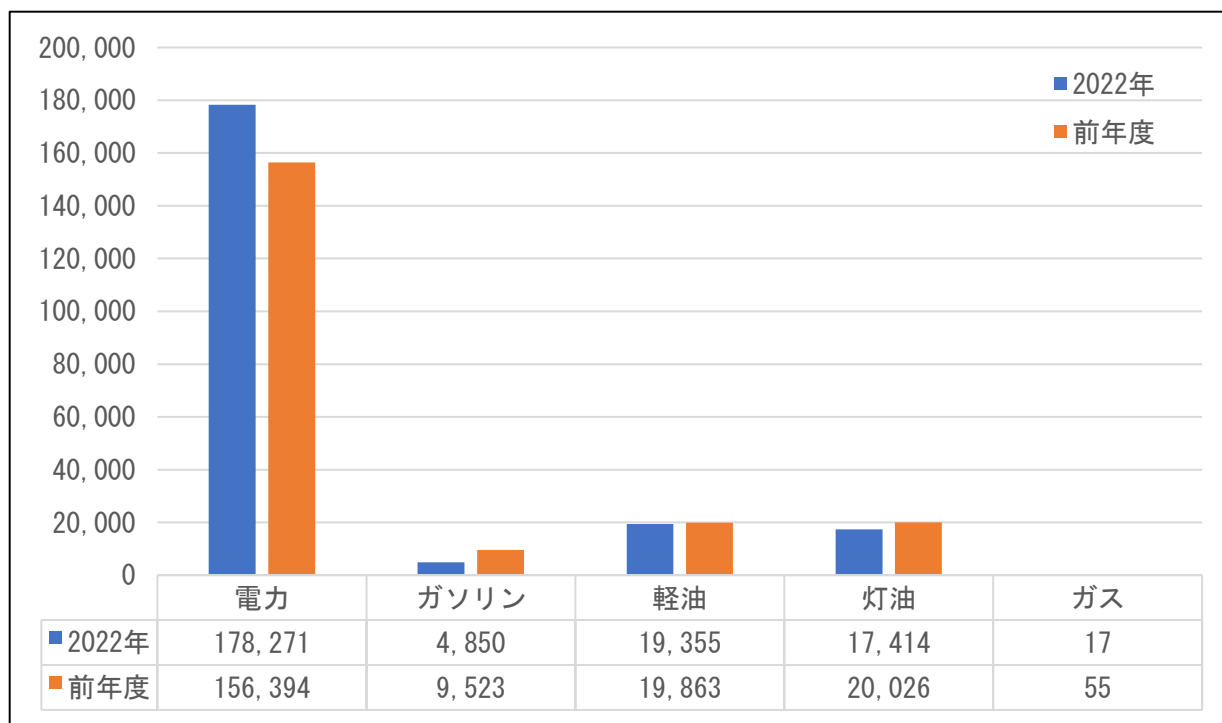
当年度(2022年度)

調整後排出係数	0.424	2.322	2.619	2.489	3	
	電力	ガソリン	軽油	灯油	ガス	合計
本社	103,037	3,809	10,460	1,449	0	118,755
第二工場	20,829	0	1,351	15,965	17	38,162
名取工場	54,405	1,041	7,544	0	0	62,990
合計	178,271	4,850	19,355	17,414	17	219,907
単位	kg-CO ₂ /kwh	kg-CO ₂ /L	kg-CO ₂ /L	kg-CO ₂ /L	kg-CO ₂ /L	

前年度より約7%増加しました。ただし、2023年1月に本社工場増築竣工したことを考慮すると、全社的に省エネ省資源に対する意識は向上しているものと考えられます。

前年度(2021年度)

調整後排出係数	0.424	2.322	2.619	2.489	3	
	電力	ガソリン	軽油	灯油	ガス	合計
本社	83,215	5,444	16,847	4,734	22	110,262
第二工場	15,719	0	1,285	15,292	33	32,329
名取工場	57,460	4,079	1,731	0	0	63,270
合計	156,394	9,523	19,863	20,026	55	205,861
単位	kg-CO ₂ /kwh	kg-CO ₂ /L	kg-CO ₂ /L	kg-CO ₂ /L	kg-CO ₂ /L	



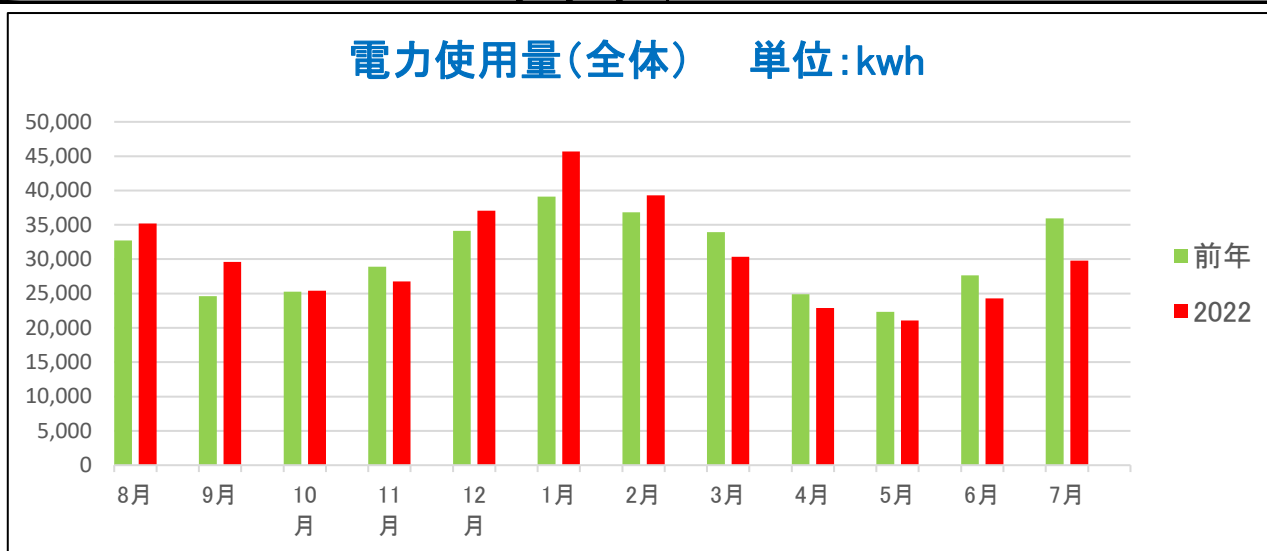
環境経営計画の取組結果とその評価

① 電力使用量

達成状況:「○」達成、「×」未達成、「-」未計画

※弊社で一番環境負荷が大きい
(全体の約80%)

	達成状況			取組結果とその評価、次年度の取組内容
	本	二	名	
1 室内温湿度管理の徹底	○	○	○	弊社で一番環境負荷が大きい電力で、中でも特に空調設備(エアコン)の使用量をコントロールする事が肝要と考え活動を実施。特に本社に関しては、2023年1月増築した事に伴い、使用量が大きく増加したため、更に①各エリアに温湿度計を設置②窓に遮熱シート取付けなどを実施。全体に省エネの意識付けしたことで、むしろ3月以降は増築前より削減となり、全体としても前年とほぼ変わらない電力使用量に抑える事ができた。 次年度以降は本社で効果が出ている取り組みを他拠点に展開し、環境負荷の軽減を図る。
2 蛍光灯のLED化	○	-	-	
3 消灯の徹底	○	○	○	
4 電力モニターによるデマンド値管理	○	-	-	
5 窓の遮熱対策	○	-	-	
6 エアコンのタイマー設定	○	×	×	
7				



全体	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
前年	32,731	24,630	25,269	28,927	34,120	39,122	36,817	33,947	24,892	22,336	27,633	35,921	366,345
2022	35,203	29,612	25,419	26,756	37,039	45,682	39,311	30,366	22,894	21,068	24,287	29,772	367,409

本社	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
前年	17,597	12,864	12,740	14,966	18,278	19,479	19,291	19,086	14,391	12,711	14,502	20,357	196,262
2022	18,629	16,251	14,200	15,935	21,866	28,445	25,259	18,764	13,505	11,764	13,345	14,924	212,887

※本社1月増築竣工

第二	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
前年	4,043	3,002	2,662	2,711	2,787	2,736	2,436	2,787	2,755	2,551	3,691	4,912	37,073
2022	4,875	4,121	3,519	3,704	4,215	4,618	2,932	2,883	2,593	2,573	3,127	3,876	43,036

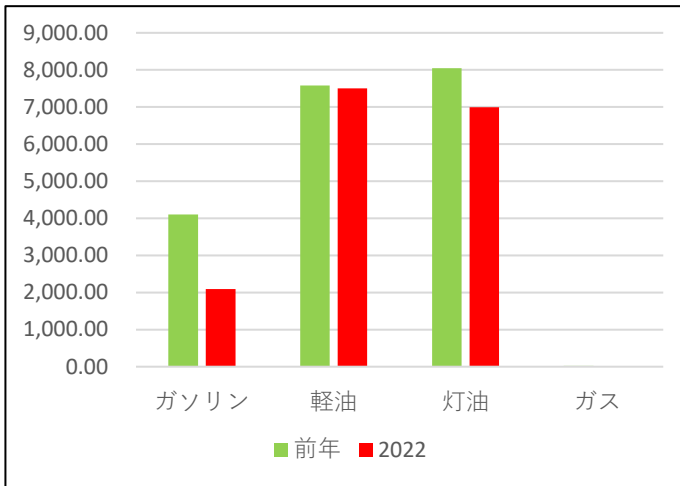
名取	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
前年	11,091	8,764	9,867	11,250	13,055	16,907	15,090	12,074	7,746	7,074	9,440	10,652	133,010
2022	11,699	9,240	7,700	7,117	10,958	12,619	11,120	8,719	6,796	6,731	7,815	10,972	111,486

環境経営計画の取組結果とその評価

② 燃料(ガソリン・軽油・灯油・ガス)

達成状況:「○」達成、「×」未達成、「-」未計画

	達成状況			取組結果とその評価、次年度の取組内容
	本	二	名	
1【車】エコドライブの促進	○	○	○	【車両燃料に関して】本社トラックの中距離(本社⇄名取間)の定期便が無くなった反面、名取工場の納品対応により車両1台(軽油)を追加したことで、軽油はほぼ変わらない使用量となった。なおガソリンに関しては、営業で使用する頻度が減った事に伴いガソリン使用量も減少。来年度は効率のよい運行(用事をまとめるなど)を実施する。 【灯油に関して】冬期間の暖房機の燃料としての使用がほとんど。本社工場は新工場竣工に伴い、断熱効果が高まり暖房機の使用量が減少。来年度は暖房冷房効率を上げるため、社内の環境整備を実施する。 【ガス】本社工場は新工場竣工に伴いガスを不使用に。名取工場は元々使用していない。二工場が2カ所使用しているため、来年度は1カ所に集約する方向で進める。
2【車】効率の良いルートの実行	○	○	○	
3【車】客先への訪問集約(用事をまとめる)	○	○	×	
4【灯油】室内温度の管理(特に冬期間)	×	×	×	
5【灯油】社内の環境整備(遮熱断熱)	○	×	×	
6【ガス】電気温水器への切り替え	○	×	-	
7				



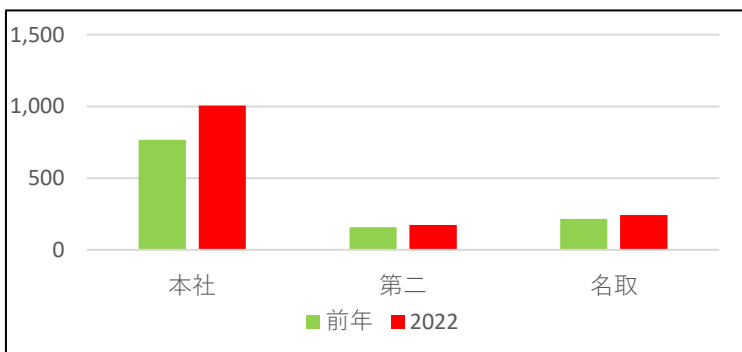
単位: L (上段: 前年、下段: 当年)

	ガソリン	軽油	灯油	ガス	合計
全体	4,101.32	7,583.95	8,046.00	18.30	19,749.57
	2,090.91	7,502.59	6,994.00	7.90	16,595.40
	51.0%	98.9%	86.9%	43.2%	84.0%
本社	2,344.57	6,432.46	1,902	7.2	10,686.23
	1,642.13	4,054.55	582	0	6,278.68
第二	-	490.62	6,144	11.1	6,645.72
	-	523.91	6,412	7.9	6,943.81
名取	1,756.75	660.87	-	-	2,417.62
	448.78	2,924.13	-	-	3,372.91

③ 水資源

達成状況:「○」達成、「×」未達成、「-」未計画

	達成状況			取組結果とその評価、次年度の取組内容
	本	二	名	
1 節水シールの掲示	○	○	○	本社に関しては、男性用水栓トイレの水が一か所、止まらなず流れっぱなしのケースがあったため、表示を行い対応した。全社基本的にトイレの使用量に比例して水の使用量も増減する事から、人が増加する事での使用量増加は致し方ない。
2 漏水の確認	○	○	○	
3				
4				



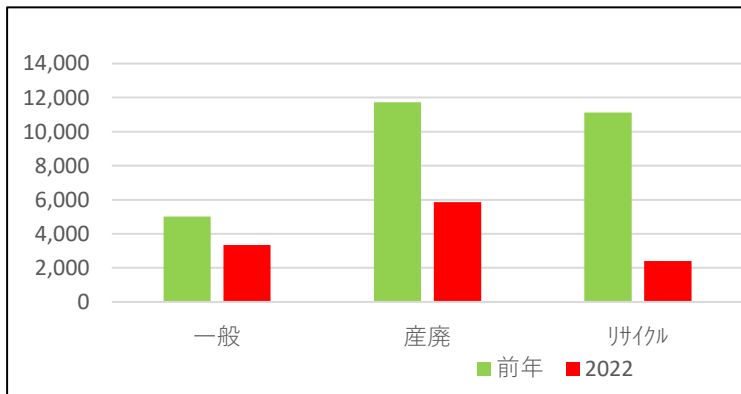
単位: L	本社	第二	名取	全体
前年	767	157	217	1,141
2022	1,005	173	242	1,420
	131%	110%	112%	124%

環境経営計画の取組結果とその評価

④ 廃棄物・リサイクル

達成状況:「○」達成、「×」未達成、「-」未計画

	達成状況			取組結果とその評価、次年度の取組内容
	本	二	名	
1 紙ベースの運用削減	○	○	○	全社VPN接続により、社内の文書管理システムを全社に展開。紙ベースで運用していた申請関係をデータ運用に変更。また、専門業者に委託し、定期的な段ボール回収、及び廃棄物の分別回収を実施することで、より正確なりサイクル化を実現している。鉄や雑線などは社内です別し、自社でリサイクル業者に持ち込みを行っている。 社内で分別できるものは分別し、できないものは専門業者に委託する事で、未分別による廃棄を防止を徹底するとともに、社内における廃棄物削減の意識向上を図る。
2 不用紙・段ボールのリサイクル徹底	○	○	○	
3 ゴミ分別の徹底	○	○	○	
4 梱包材の再利用、通い箱の有効活用	○	○	○	
5 専門業者の有効活用	○	○	○	
6 有価物の分別収集	○	○	○	
7				

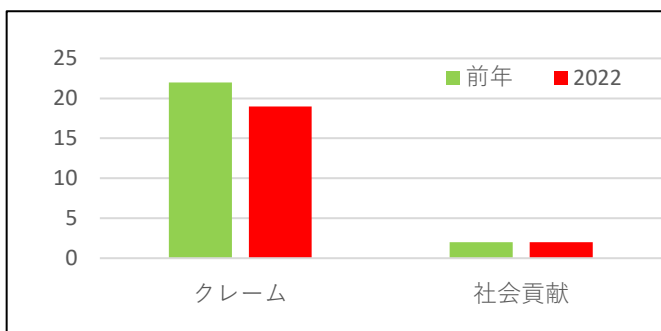


単位: kg	一般	産廃	リサイクル	合計
前年	5,010	11,720	11,130	27,860
2022	3,350	5,860	2,400	11,610
	67%	50%	22%	42%

⑤ その他(クレーム件数・社会貢献)

達成状況:「○」達成、「×」未達成、「-」未計画

	達成状況			取組結果とその評価、次年度の取組内容
	本	二	名	
1 【品質】5S活動の推進	○	○	○	本社を中心に5S活動や外部コンサルを招いての物流改善活動を実施。工程の整理整頓は品質向上に直結するので、継続して実施していく。クレームに関しては、年間の目標を定めて撲滅に向け活動を実施しているが、クレームに対する対策の水平展開については課題があるので、そのあたりを中心に活動する。 社会貢献に関しては、新型コロナウイルスによって様々な行動の変容があった事から、今の時代に即した形の社会貢献を実施していく。(2022年10月に障がい者1名を雇用)
2 【品質】工程内不良の把握	○	○	×	
3 【品質】クレームに対する対応の水平展開	×	-	-	
4 【貢献】草刈り活動への参加	○	-	-	
5 【貢献】障がい者雇用の実施	○	-	-	
6 【貢献】職場体験の受入れ	×	-	-	



単位: 件	クレーム	社会貢献
前年	22	2
2022	19	2
	86%	100%

環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりです。

適用される法規制	適用される事項
廃掃法	一般及び産業廃棄物の適正な処理、マニフェストの交付
容器包装リサイクル法	段ボール、不用紙、プラスチック製容器包装のリサイクル
PCB特別措置法	PCB廃棄物(使用中含む)の保管状況の届け出、処分期間内の処分
電気事業法	電気工作物の保安・維持
騒音規制法・振動規制法	コンプレッサーの届け出、コンプレッサー室の音漏れ防止
労働安全衛生法	有機溶剤の取り扱いについて
市の条例・消防法	騒音・振動について、少量危険物(灯油)の取り扱いについて

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、法規制は遵守されておりました。

また、過去3年間関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟について、問題ありませんでした。

代表者による全体評価・翌年度の活動方針

当年度の大きなイベントとしては、本社工場の増築が挙げられます。
取引先の拡大によりスペースが手狭となった事らか、2023年1月に竣工致しました。

工事期間中は全社拠点を活用し、一時的な作業場や仮設トラックヤードの設置など、通常運転とはいかなかった1年となりました。しかしながら、増築したにもかかわらず、全体的なCO₂排出量はさほど増えておらず、とくに全体の8割を占める電力に至っては、増築後の方が少なくなっている結果となりました。

これは、燃料費の高騰により電気代が増えた事による業績への影響を全社で共有し、節電の意識を高めた成果であると言えます。

業績の向上と環境への配慮の両立は、我々のような中小企業には難しい部分もありますが、みんなのアイデアと協力によって目に見える成果として達成できる事は、各自の仕事にも活かすことができると考えます。

厳しい外部環境が今後も続くと思われませんが、地場の企業としての責務を今後一層果たすべく、邁進して参ります。

来期の活動に関しては、①本社デマンド値の削減(160kw→100kw)②第二工場の灯油使用量削減のための環境整備 を中心に実施し、より一層の省エネを意識した経営を行って参ります。

実施日 2023年10月20日